

第8期生 池附6名/北三33名/祥雲26名

3月19日の公立一般入試合格発表を持って、本年度高校入試が終了いたしました。北摂三田高・三田祥雲館高という三田市トップ2の合格者数は昨年度を超える**59名**(※)になりました。単独教室としては大教大附属池田高6名・北摂三田高33名が三田市内Maxと思われます。この成果は開校10年足らずの新興私塾であるにも関わらず、信じてついて来てくれた生徒を始め、後押しいただいた保護者の方々のお陰と感謝しております。来年度以降もその信頼に答えるべく精進していく所存です。(※:3月20日現在)

さて、新中3生にとっては「これまでで最も重要な1学期」が始まります。
①「行きたい高校を決めること」 ②「必要な通知表評価を知ること」
③「今やるべきことを自覚すること」 4月中に上記のことを認識できれば受験に向けて好スタートが切れます。残り日数は358日です。〔野垣勝彦〕

3月・4月のおもなスケジュール		
3/23	土	3月度授業終了
25~		春期講習スタート
31	日	自習室開室(11:00~22:00)
4/4	木	春期公開テスト(新小4~新中2)
5	金	春期公開テスト(新中3)
6	土	緑日イベント 自習室開室
8	月	1学期授業開始
13	土	やる気UP講座(中3)
14	日	自習室開室
20	土	やる気UP講座(中1)
21	日	自習室開室
27	土	やる気UP講座(中2)
28	日	自習室開室
29	月	昭和の日【授業あり】
30	火	国民の休日【5/6まで休室】

萌ゆる4月

はじめまして。3月から特進館学院の講師としてデビューしました原田夏花です。教科は国語を担当しております。突然ですが、皆さんは「一月いぬる 二月逃げる 三月去る」という言葉を知っていますか? 1月から3月にかけて、あっという間に月日が過ぎ去っていくという気持ちを表現した言葉です。お正月からバタバタとしていたら、毎年いつのまにか4月になっています。新学年が本格スタートする4月こそ、駆け抜ける日々に休符を打ち、周りを見渡せるようにしたいですね。皆さんの小さな成長にも目を向け、道端に芽吹く春に気付けるような先生になりたいです。よろしくお願いします。〔原田夏花〕



生徒のあいさつ元気度測定用のデジタル騒音計を設置しました!

2月の“自習王”決定!
 ☆中学生の部
 新中3 荒井 悠真 96時間
 ☆高校生の部
 新高3 渡邊 香子 121時間

それぞれの進路へ

本年度も中学3年生の受験が終了し、それぞれの進路に向かって、第一歩を踏み出していきました。The law of thought and effect (思いと結果の法則)という言葉がありますが、この言葉を信じ、入試直前まで、塾に残って学習した生徒の姿が合格会場にありました。来年また、この素敵な笑顔に会えることを願っています。【澤井伸一】

4月分 3月 27日(水)
 学費の振替

春期講習のご案内を同封しております。講習費につきましては、お手数ですが当学院指定口座までお振込みをお願いいたします。4月分学費詳細につきましては明細のご確認をお願いいたします。

卒業おめでとう! そして...

次の目標に向かって、明日から一緒に頑張る人。もうお別れの人。1年後くらいに、成績がボロボロになって助けを求めてくる人。それぞれですが、まずは、卒業おめでとうございます。ところで、みなさんが将来親になって我が子から、「お母さん、何で勉強せんといかんの?」と聞かれたとき、的確な「答え」を伝えることができますか?

それは、『なりたい自分の選択肢を広げるため』です。たとえば、回転すし屋さんがどうして人気があるのか? それは、多くの中から「選べる」からです。もし回転すしが、全部バッテリーだったら絶対イヤですよ? 何十種類もネタがあって、タッチパネルで選べるから楽しい。

みなさんが将来、職業を選ぶとき、選択肢が1つしかなかったら悲しいと思います。だから、一生懸命勉強をして、「自分の選択肢を広げる」のです。糸もロープもワイヤーも、一度切ってしまったらおしまいです。勉強は、たとえそれが細い糸でもつながっていれば、また少しずつ太くしていくことができます。だから決して切らないで、つないでください。

そうすれば、将来なりたい自分の選択肢をどんどんと広げることができます。自分の未来が、バッテリーだけの悲しいすし屋さんにならないよう、気を抜かずに今日からもしっかりとがんばりましょう!〔北村昌弘〕



代表北村の独り言...

新年度が始まり、生徒たちが新学年を迎えて輝く瞳を見て、とても幸せな気持ちを感じています。よ〜、また1年がんばって志望校に送り出すゾ〜!

**編集
後記**

春…我が家の恒例は子どもの散髪です。ポニーテールが必須の新体操演技会が終わり、次回10月に再びポニーテールができるギリギリの長さまで、バツリと切ってもらいます。短くなるし、量も減らしてもらって、軽くなり、洗髪もとっても楽になるらしく、子どもたちはこの時期の散髪をとっても楽しみにしています。見た目の雰囲気が変わることで新しい自分になれた気がするのか、しばらくは生き生きと見えます。大人は子どもほど単純ではないですが、せっかくの春を上手に楽しみたいですね。